

## 令和3年度 学校関係者評価実施用紙（まとめ用）

学校番号	60	学 校 名	静岡県立池新田高等学校	記 載 者	教頭 川口知幸
------	----	-------	-------------	-------	---------

評価	基 準	評価	基 準
A	十分目標を達成することができた	C	あまり目標を達成することができなかった
B	おおむね目標を達成することができた	D	ほとんど目標を達成することができなかった

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見		
ア	<b>基本的生活習慣を身につけ、規律ある思いやりあふれた人間を育成する</b>	他者の話をしっかりと聴くことができる生徒 80%以上	A	A	挨拶や人の話をしっかりと聴くことができる生徒の割合、身だしなみを正す割合は非常に高い。生徒の学校生活も安定している。学校を訪問しても元気な挨拶や気持ちの良い会話ができる生徒が年々増加していると感じる。		
		身だしなみを自ら正す生徒 90%以上	A				
		自他の人権が尊重されていると実感する生徒 90%以上	B				
				健康や安全に関する高い意識を持つ生徒 80%以上	A	B	コロナ禍であっても生徒たちができる限りの努力をしている様子がうかがえる。家庭の協力を必要とする項目が多く、学校から多くの情報発信を施す必要がある。今後の課題として精神面や肉體面の管理を家庭に頻繁に投げかけ、生活の中に健康であることの有難さを感じる機会を増やしていったらどうだろうか。
				朝食摂取率 90%以上	B		
				欠席率 1.5%以下 遅刻率 0.8%以下	B		
				共生・共育から学ぶことが多いと実感する生徒 80%以上	B		
		読書感想文を通して心が豊かになったという生徒 70%以上	C	C	今回新しく設けた項目なので来年度も継続して取り組みたい。図書室からの情報発信も高めたい。		
イ	基礎学力の確実な定着と主体的に学ぶ態度を育成する。	学びの基礎診断等を活用して、基礎学力が向上したと実感する生徒 80%以上	B		自由参観週間等での生徒の様子は非常に安定しているように感じる。生徒と教員の距離も適切なもので、授業に対して落ち着きが十分見られた。		
		プロジェクト等のICT 機器を活用した授業を行って	A				

		る教員 90%以上		A	スタディサプリの利用については、一方的な利用になりがちなので生徒と共通な理解をもって教員が情報提供すべきである。学習への取組が向上するため教職員が努力しているのがよくわかる。更に生徒の理解力を高めるためにも観点別評価の研修を深めたい。
		観点別評価の実施を通して生徒の学習改善につながる授業改善を行っている教員 80%以上	A		
		授業中に教員が褒めたり励ましてくれたりすると感じる生徒 80%以上	B		
		到達度に応じた授業を実践している職員 90%以上	A		
		授業に意欲的に取り組む生徒 90%以上	A	A	授業に意欲的に取り組む生徒が増加している。今後の成長が非常に楽しみである。一方で読書量は少なく今後の生徒への啓発が必要となる。スマホの普及に対応できないのは仕方の無い事なのかもしれない。
		OJT チーム職員の授業を参観する職員 80%以上	A		
		年間 5 冊以上本を読んだ生徒 70%以上	C		
		各種説明会やインターンシップ等の進路指導、行事が十分行われていると答える生徒 90%以上	A	A	コロナの影響で外部と連携することが困難になってきているが、教員がひたむきに努力している様子が感じ取られ個々の生徒に対する日頃の指導が充実しているように思う。今後も厳しい制限を受けながら行事を進めていくことを考えると今年度の指導体系を維持し、生徒の進路意識を更に高めたい。
		一人ひとりに適した丁寧な進路指導が行っていると答える生徒 80%以上	A		
		生徒主体でしぶき祭や体育大会などの行事が行われると答える生徒 80%以上	A		
ウ	<b>社会の一員としての自覚を持ち、自らの進路を切り拓く力を育む。</b>	学習支援ボランティア定員充足率 100%	A	A	ボランティアに対する意識が非常に高く、地域に対して貢献しようとする生徒が多くみられる。地域の活性化につながるこれらの活動に参加する割合を更に増やし、地元の魅力を外部に発信していきたい。
		池高チャレンジ&サポート事業申請数 2 名以上	A		

		地域探究学習を通じて、地元に対する魅力を発見し働くことにやりがいや喜びを感じたことができたと答えた生徒 80%以上	B		
エ	学校行事や部活動等を通してたくましい力や豊かな感性を培う。	部活動に積極的に参加する生徒の割合 80%以上	A	A	部活動への参加は将来役に立つことを生徒にも理解させ、自己を磨くことの大切さを生徒にも理解させたい。
		年 5 回以上生徒表彰を行う。	A		
		芸術鑑賞教室を通して心が豊かになったという生徒 70%以上	A	A	業者選定は重要であるので今後も生徒に対し十分な講演内容を事前に連絡すると更に成果は向上すると考える。
		校内の環境美化に努める生徒 90%以上	B	A	校内を訪れても常にきれいで美化活動に努めているように感じる。
		相談室が使いやすいと感じる生徒 70%以上	A	A	教育相談体制が整っていることは生徒が安心して学校生活を送るための必要条件だと思う。
		支援を必要とする生徒の事例を共有し、チームで支援を行っていると感じる教員 70%以上	A	A	チームで連携することによりその生徒に対して共通理解が持てるので非常に良い取組であると思う。
オ	安全で安心して生活できる校内環境整備を行う。	防災訓練により避難行動を理解し、防災意識も高まっていると答える生徒 80%以上。生徒表彰の充実	A	A	予期せぬ災害に対し、常日頃から備える意識を生徒や教職員が考えることは重要である。地域に戻ってもその気持ちを持ち続けるためにも訓練は頻繁に行うことが大切だと思う。
		地域防災に参加したと答える生徒 60%以上	—		
		いじめが原因となった不登校 0 件交通安全教室の実施	C	A	先生を信頼する生徒の割合が前年に比べ増加しており、教員の努力の跡が窺われる。 いじめについては未然に防止するために些細な情報でも見逃さず、常に生徒の言動に着目していきたい。
		先生を信頼する生徒 70%以上	A		
		重大な交通事故 0 件	A		

		1日体験入学、オープンスクール、学校説明会への中学生参加延べ300人以上	B				
		施設・整備は安全に整備され使いやすく整備されていると答える生徒の80%以上	A	A	勉学には環境整備は必要な条件であり、安全性を重視することは学校がやらねばならない大切なことだと思う。		
カ	地域と連携する開かれた学校づくりを推進する	PTA総会出席率50%以上	B	B	コロナ禍でPTA活動自体が実施できないのはやむを得ないと思う。次年度以降、対応策を十分整え、情報発信するかが大切である。		
		PTA活動は活発であると答える保護者・教員70%以上	B				
		地域貢献、地域活動に何らかの形で参加する部活動の割合100%	C	B	地域活動に参加している割合が例年通り安定した数字を残している。今後も、地域に根差した学校として中学生を中心に情報発信することで様々な注目をしてもらえる学校になってほしい。中学生が注目する広報活動を模索し、その内容を保護者や家庭、中学校が理解し、分かりやすく数多く提供してみたらどうだろう。		
		進学後も含め、地域に戻ってきたいと思う生徒80%以上	A				
		中学校時代、本校の広報活動が学校選択の参考となったと答える新入生80%以上	B				
				監査指摘事項0件	A	A	今後も継続していきたい。
				職員室施錠時間21時以前	A	A	働き方改革が徐々に改善されていることの証であると考え。さらに進めていきたい。
		県実施調査のストレス値(学校全体)が県平均を下回る。	A	教職員の精神的な安定は教育に直結する。学校を上げてストレスのたまらない職場づくりを進めて欲しい。			